

# FANCT



旭川工業高等専門学校 学校だより“ファンクト”  
平成28年11月発行

# vol.126



ニュージーランド・イースタン工科大学語学研修にて

## Contents

### 特集 1

高専体育大会 ..... 2 ~ 3

### 特集 2

2016年度就職戦線 ..... 4 ~ 5

国際交流 ..... 6 ~ 8

オープンキャンパス・体験入学 ..... 9

校内体育大会 ..... 10

ANCTOPICS ..... 11



# 高専体育大会

7月中旬に、第52回北海道地区国立工業高等専門学校体育大会が、競技種目ごとに道内4地区に分かれて開催されました。優秀な成績を収めたクラブは、8月に開催された第51回全国高等専門学校体育大会への出場を果たしました。

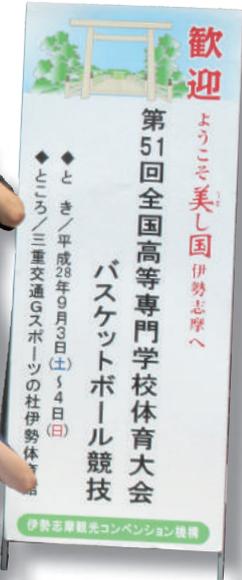
第51回全国高等専門学校体育大会は東海北陸地区において開催され、旭川高専からは、柔道部、バスケットボール部、陸上部の3部が出場を果たしました。

大会に参加した選手、運営に携わった学生と教職員の皆さん、大変お疲れ様でした。

## 女子バスケットボール部

### システム制御情報工学科4年 内藤 郁未

創設してから7年目で、ついに地区大会の優勝校に名を連ねることができ、私たちの部活にとって、初めての全国大会となりました。全国大会の初戦は強豪チームと対戦し、大敗を喫しましたが、現在のチームに足りない部分をはっきりと目にし、今後の課題が見えました。またハイレベルな試合も観戦でき、良い経験になりました。来年度も同じメンバーで挑むことができるので、また全国大会に出場し、今年度の雪辱を晴らせるよう日々の練習に励みたいと思います。



## H28 専体連全国大会 成績表

団体種目	結果
バスケットボール女子	1回戦敗退
柔道	1回戦敗退
剣道女子 (出場1校)	予選敗退

個人種目	結果
陸上競技	
男子200m 尾形 佳亮	予選敗退
女子走幅跳 山口 楓	15位
ソフトテニス	
女子ダブルス 藤澤・太田ペア	2回戦敗退
柔道男子	
60kg級 後藤 龍太郎	1回戦敗退
剣道	
男子個人 名畑 優作	2回戦敗退
女子個人 田中 夢乃	1回戦敗退
青野 穂香	1回戦敗退



## 柔道部 機械システム工学科 3年 濱塚 広大

柔道部は男子団体戦、男子個人試合 60kg で全国大会へ出場しました。結果は団体戦、個人戦ともに1回戦負けという残念な結果に終わってしまいました。今回の大会は5年生の先輩を除き他の全部員が専体連全国大会へ初出場ということで、全国の厳しさを体験できたと思います。この悔しさをバネに来年の大会でよい結果を残せるように頑張りたいと思います。



## 陸上部 物質化学工学科 3年 尾形 佳亮

今年の専体連全国大会の陸上競技は名古屋市で行われました。会場は日本選手権の行われた競技場ということもあり、かなりよい競技場でした。連日気温 30℃、湿度 50% 超えと北海道とは全く違う気候の中で競技することになったため苦戦することになり、普段よりもシビアな体調管理が要求されました。結果は予選敗退とよい結果とはいえませんでした。今後はどのような環境でも自己ベストを出せるような練習を行い、再び全国大会に出場できるよう頑張りたいです。



## H28 専体連北海道地区大会 成績表

団体種目	結果	個人種目	結果
陸上男子 4×100m リレー	4位	陸上競技	
バスケットボール男子	4位	男子 200m	尾形 佳亮 優勝
バスケットボール女子	優勝	女子 走幅跳	山口 楓 優勝
バレーボール男子	4位	ソフトテニス	
バレーボール女子	4位	女子シングルス	太田 優花 2位
ソフトテニス	3位	女子ダブルス	藤澤・太田ペア 優勝
卓球	3位	卓球	
柔道	優勝	男子シングルス	宮田 富良野 2位
剣道男子	2位	男子ダブルス	大久保・宮田ペア 2位
剣道女子 (出場1校)	優勝	女子シングルス	西脇 綾乃 2位
バドミントン男子	3位	柔道男子	
バドミントン女子	4位	60kg 級	後藤 龍太郎 優勝
野球	3位		福井 惟之 2位
アーチェリー	4位	73kg 級	芳賀 巧 2位
テニス	3位	90kg 級	在間 涼 優勝
サッカー	4位	剣道	
ラグビーフットボール	2位	男子個人	名畑 優作 優勝
		女子個人	田中 夢乃 優勝
			青野 穂香 2位
		テニス	
		男子ダブルス	千財・西村ペア 2位

※個人種目は2位まで掲載。



# 2016年度就職戦線

就職活動の指導を行った5年生の担任に聞いてみました！

(※8月10日現在の状況です。)

- 設問1** 就職内々定の人数を教えてください。 **設問2** 内々定者の道内企業と道外企業の人数を教えてください。
- 設問3** 第一希望企業での内々定者の人数を教えてください。 **設問4** クラス内で一番早く就職活動(提出書類作成)を始めた時期を教えてください。
- 設問5** クラス内で最も早く内々定が出た時期を教えてください。 **設問6** 内々定先の企業名を5社教えてください。
- 設問7** 就職活動で必要と思われるスキルを教えてください。 **設問8** 4年生のインターンシップには行くべきだと思いますか？また、その理由を教えてください。
- 設問9** 今後、就職を予定している4年生以下の学生に対して、就職活動に対するアドバイスやメッセージをお願いします。

## 機械システム工学科 後藤 孝行

- 設問1** 19名  
**設問2** 道内：5名・道外：14名  
**設問3** 16名  
**設問4** 3月 **設問5** 4月  
**設問6** (1)北海道旅客鉄道(株)  
 (2)北海道ガス(株)  
 (3)小島プレス工業(株)  
 (4)いすゞエンジニアリング(株)  
 (5)ANA ベースメンテナンステクニクス(株)



- 設問7** 情報収集能力、自己分析能力、コミュニケーション能力など。
- 設問8** 行く必要あり (理由) インターンシップに参加した企業の採用試験を受けることもあり、学生本人にとって大変有意義な経験となる。また、採用試験に繋がらなくても、職場や仕事の様子を体験できることで、その後の進路先を選択するための情報収集と貴重な経験となる。
- 設問9** 自分は何に興味があるか、自分の強みは何かなどの自己分析を行っておくこと。求人票と併せて企業のパンフレットなどを参照し、企業情報を収集しておくこと。履歴書の限られた枠内で自分をアピールできる内容となるようまとめておくこと。学内の進路活動講演会や学内セミナーで自分に有用な情報を蓄積しておくこと。このように早い段階から進路に関わる準備と意識を持つことが大切と考えます。家族の方との相談も忘れずに。

## システム制御情報工学科 大柏 哲治

- 設問1** 17名  
**設問2** 道内：1名・道外：16名  
**設問3** 12名  
**設問4** 3月 **設問5** 3月  
**設問6** (1)マツダ株式会社  
 (2)パイロットコーポレーション  
 (3)ダイキン工業株式会社  
 (4)株式会社マキノフライス製作所  
 (5)キヤノン株式会社



- 設問7** スキルではないが面接の準備をよくしておくこと。学科の先生に面接の練習をお願いすると良い。学校等での活動を利用してコミュニケーション能力を高める事が必要。TOEICで高い点数を取っておくと有利な企業が多い。自動車免許をとっておくと良い。
- 設問8** 行く必要あり (理由) 就職へのモチベーションがすごく上がる。会社の中の様子をある程度知ることができる。自分がどういった会社に向いているか考える機会となること。インターンシップを受け入れてくれた会社を受験する学生も多く合格率も高いと思います(受からない場合もあります)。
- 設問9** 12月に学内の就職セミナーがありますが、積極的に参加し情報収集をして下さい。4年次に行われる就職模擬試験、模擬面接は真剣に受けること。放課後、LHRに行われる企業の方の業界説明なども積極的に参加すること。担任・学科の先生方のお話を聞くことはもちろん、5年の先輩・卒業した先輩方から情報をもらうのは大変良いことです。担任の先生にお願いして会社見学にもどんどん行って下さい。最も大切なことは、受験する企業を決める時は保護者とよく相談し、お互い納得してから受けることです。

## 電気情報工学科 吉本 健一

- 設問1** 21名  
**設問2** 道内：9名・道外：12名  
**設問3** 14名  
**設問4** 3月 **設問5** 4月8日  
**設問6** (1)北海道電力(4名)  
 (2)ジョンソンコントロールズ(2名)  
 (3)出光興産(1名) (4)NTTME(1名) (5)ウエルネット(1名)



- 設問7** 面接への対応力が一番重要であると思われる。そのため、以下のスキルは重要。①コミュニケーション能力 ②アピール力 ③プレゼン力
- 設問8** 行く必要あり (理由) 自分の希望する業種を選んで行くと、その分野が自分に合っているかどうか大体わかる。向いていると思った学生は、就職活動で実際に受験する学生もおり、向いていないと思った場合でも、就職活動での企業選定の判断材料ができる。もし、自分の希望する業種に行けなかったとしても、実際に働いている現場を見ることは、就職活動に役立つと思われる。
- 設問9**
- ①自分の受験する企業を選定するには情報収集が大切なので、会社案内や求人票をよく見るのはもちろんのこと、学内セミナー、学内での個別会社説明会、学外での会社説明会等に積極的に参加してほしい。
  - ②面接対策が重要だが、面接の受け答えでは大きい声ではっきりと答えることはもちろん、回答には具体例や体験談・エピソードを理由を付けて入れて、説明できるようにした方がよい。
- 以下のことはよく聞かれるので、複数の先生と面接の練習をしておいた方がよい。
- (1)志望理由 (何をしたいか、同業他社のライバル社と比較して選んだ理由)
  - (2)自己アピール (自分の強み・長所と短所：短所はどのように改善して行くべきかも必要)
  - (3)学生時代に力を入れたことは何ですか (困難だったこと、大変だったことを含めて…)
  - (4)あなたの理想とする将来像 (例えば入社10年後の理想的なエンジニアとしての自分)
- ③面接前に受験する会社の案内やパンフレット、HPをよく見ておく(企業分析)。これらには会社の方針やエッセンスがよく書かれているので、じっくり見てよく取り入れて自分の考えも同じベクトルの向きであるということを確認しておきたい。しっかりと見ていない学生が多いので…。また、面接では「自分の強みは～で、入社した場合には～に活かせると思います」というように、アピールとぜひ入社したいという熱意が十分に伝わるように心がけたい。

## 物質化学工学科 小寺 史浩

- 設問1** 14名  
**設問2** 道内：3名・道外：11名  
**設問3** 4名  
**設問4** 1月 **設問5** 4月  
**設問6** (1)東レ株式会社  
 (2)花王株式会社  
 (3)三井化学株式会社  
 (4)旭化成株式会社  
 (5)サッポロビール株式会社



- 設問7** ・セルフコントロール ・コミュニケーション ・情報分析
- 設問8** 行く必要あり (理由) 百聞は一見に如かず。何事にも代え難い経験になると思います。
- 設問9** 他の誰のものでもない、自分の人生です。とことん悩んで、しっかり決断しましょう。ここでの決断が未来の自分を創ります。

昨年度に引き続き採用スケジュールが変更となり、8月から6月へと採用選考開始が前倒しとなりました。そこで、5年生の担任と就職活動を経験した5年生に、今年度の就職活動状況を聞いてみました。

5年生の内定者に聞いてみました！

**設問 3** 内定を得た企業の志望理由は？

**設問 1** 内定を得た企業は？

**設問 2** 就職試験を受けた企業数は？

**設問 4** 就職活動に関して、どのような準備をいつごろ開始しましたか？

**設問 5** 就職活動で最も重要だと思った事は何ですか？

**設問 6** 後輩へのアドバイスをお願いします。

## 機械システム工学科 鈴木 樹



**設問 1**

株式会社日立ビルシステム

**設問 2**

1社

**設問 3**

多くの人が日頃から当たり前で使用している“モノ”に興味がありました。エレベーターやエスカレーターは正にその様な“モノ”であり、これらの装置を安全に利用できるように、影で支えるメンテナンスの仕事に携わりたいと考え、内定を頂いた企業を志望しました。

**設問 4**

4年生の2月ごろから、学校のPCの求人情報サイトで企業について調べ始めました。受けると決めたのは春休みで、そこから適性検査の勉強や面接対策を始めました。

**設問 5**

面接はどれだけ練習しても、予期していない事を聞かれることがあります。その様な中でも、適切な返答をして、会話を続けなければなりません。そのためにはコミュニケーション能力が大切だと感じました。

**設問 6**

早いうちから準備して損はないので、しっかり準備して頑張ってください。

## システム制御情報工学科 小早川 星也



**設問 1**

マツダ株式会社

**設問 2**

1社です。

**設問 3**

高専で創造工学や実習を行う中で、ものづくりに興味を持ち始めた時に、教員が乗っていた自動車やモーターショーで見たマツダの自動車に惹かれました。ロータリーエンジンやディーゼルエンジンなど世界に誇れる開発技術があり、自分も世界に誇れる自動車を作りたいと思い志望しました。

**設問 4**

SPIの勉強を3月から始めました。面接と筆記試験の対策は2週間前に試験日が分かったので2週間テスト期間の中やりました。

**設問 5**

早くから準備することも重要だと思いますが、思い出を作っておくことが重要だと思います。エントリーシートや面接などエピソードを聞かれることが多く、思い出が少なく話すことがなく、自分をアピールすることができないと感じました。ですので、楽しい思い出でも辛い思い出でもたくさん思い出を作ることが重要だと思います。

**設問 6**

言い方は悪いかもしれませんが、先生は遠慮せず使ったほうが良いです。エントリーシートや履歴書の添削、面接練習、筆記試験対策など自分一人ではどうしたらいいかわからないことばかりなので先生を遠慮なく頼って、内定をもらった時には先生と喜びを分かち合ってください。

## 電気情報工学科 熊谷 達也



**設問 1**

東芝メディカルシステムズ株式会社

**設問 2**

2社

**設問 3**

母が病院に勤めており、医療分野に興味を持つようになりました。内定を受けた企業は、医療機器を取り扱う仕事をしており、高専で学んだ知識を活かすことができるので、やりがいになると思いました。

**設問 4**

1次面接の日時が決まったのが6月24日で、面接が6月29日だったので、その間に履歴書の作成、簡単な面接練習だけを行いました。2次面接は7月25日に実施され、面接日の通知から時間があつたので、1次面接でうまく答えられなかったことをまとめ、しっかりと対策をしました。7月29日には最終面接が実施され、2次面接のときと同様の対策を行いました。

**設問 5**

面接で、面接官の目を見て、それなりの声量で話すこと。相手の目を見て、堂々と話せば、自然と緊張も解れ、しっかりと話せると思います。多少の緊張は仕方ないですが、緊張しすぎると表情は硬くなり、目が泳いでしまうし、質問にもしっかりと答えられなくなってしまいます。

**設問 6**

面接で企業の人が最も重要視しているのが、しっかりとコミュニケーションを取れるかどうかです。心配な人は、先生と面接練習をしましょう。学生時代にやっていたことは絶対に聞かれるので、部活や学級活動、アルバイトなど、どんな些細なことでもいいので、話題になるようなことをやっておくこと。企業によっては、適性検査や、専門試験等もあるので、勉強しておくこと。最後に体験談として、色弱の人は発電所やプラント関係の仕事に就くことは難しいので、別の職種を選んだ方が時間を無駄にしないで済みます！

## 物質化学工学科 藤澤 菜那



**設問 1**

三井化学株式会社

**設問 2**

1社

**設問 3**

インターンシップで石油化学関連の業種に興味を持ち、人々のニーズに応える製品を提供し続けている三井化学に惹かれたのがきっかけです。4月に実際に見学に行き、他の会社の基盤となる素材や私たちの暮らしの中にある製品が三井化学で作られていることを知りました。高専で学んだ化学の知識をこの会社で活かしてみたいと思い志望しました。

**設問 4**

4年生の夏のインターンシップで就職について真剣に考えるようになりました。5年生の春休みから本格的に複数の企業へ見学に行き、それと並行して適性検査等の対策を行いました。

**設問 5**

目上の人と話すときに、正しく敬語が使えるかどうかです。面接以外でも人事部の方との食事会などがあり、そういったところでも常に見られていると思っていた方が良いでしょう。

**設問 6**

受ける企業、業種等は早めに決めておき、その企業についてよく調べておくことです。本番に自分の強みをアピールできるように、前もってエントリーシート、履歴書、面接練習等しっかりと取り組むことが大事だと思います。頑張ってください！

# 旭川高専・水原ハイテク高校交流事業



この交流事業は、水原ハイテク高等学校と本校が学術交流協定を締結した  
ことにより始まったもので、学生の相互派遣を行っています。昨年度は残念な  
がら中止となりましたが、今年度は、6月15日(水)～21日(火)の日程で、同  
校の生徒10名を受け入れ、授業参加をはじめ、学生寮での宿泊、市内見学等  
を行い、本校学生との交流を深めました。そして8月31日(水)～9月6日(火)  
の日程で、本校学生9名が韓国へ派遣されました。ここでは、ハイテク高校で  
の授業参加や見学など、様々な体験をしてきた学生達の感想を紹介します。

## 引率 電気情報工学科 准教授 笹岡 久行

今回は1年生と2年生だけの参加とのことで不安を抱えての出発でした。ですが、  
英語でのプレゼンテーション、現地での韓国語による授業や各種行事への参加を経て、  
徐々に韓国の生徒のみなさんとも仲が深まっていったようです。全員無事に帰国でき、  
帰国後には、もっと交流を深めたかったとの感想を持った学生もいました。また、韓  
国の生徒のみなさんも最後の金浦空港では別れを惜しんで見送りをしている姿も目に  
して、同じように感じてくれたようでした。また、我々の訪問、特に市庁舎への表  
敬訪問の様子は地元メディアにも取り上げて頂きました(ホームページ <http://www.gukjenews.com/news/articlePrint.html?idno=546620>)。これらのことから、  
当初の目的を果たすことができたのではないかと感じております。

最後になりましたが、この事業の実施に当たりましては保護者のみなさま及び国際  
交流ワーキンググループを始めとする教職員のみなさまの多大なるご協力を賜りまし  
た。ここに深く感謝いたします。



## 電気情報工学科 1年 太田 葵

今回派遣プログラムに参加して、国境を越えて活動しな  
ければ分からないことを知ることができました。例をあげ  
るなら、韓国の文化、習慣、生活環境などですが、特に  
身に染みて感じたのは「友達や先生をつくるのに国境なん  
てない!」ということです。期間中、水原ハイテク高校の  
皆や先生に親切にもらえて、とても幸せでした。機会  
があれば、ぜひまた会いたいと思っています。このよう  
な機会を頂きありがとうございました。



## システム制御情報工学科 1年 齊藤 立樹

僕は韓国に行くのは2回目でしたが、1回目は現地の人々  
と触れ合える機会がそんなになかったので貴重な体験とな  
りました。

ハイテク高校の生徒はみんな日本語ができるので、びっ  
くり。もうちょっと自分も韓国語を話せるようになりたか  
ったと後悔しています。来年はどんな人たちがこの交流に  
参加し、どんな物語が生まれていくのか楽しみです。



## システム制御情報工学科 1年 大懸 遼一郎

今回の交流事業は、私にとって海外に行く初  
めての体験でした。英語が得意でないばかりか、  
韓国語も分からなく、うまくコミュニケーション  
がとれるか心配でした。しかし、チューター役  
の生徒さんが、上手な日本語で親切に対応して  
くれたおかげで、何も困ることなく楽しく過ご  
すことができました。



## 物質化学工学科 2年 大石 音花

水原交流は初めての留学でした。当然ですが日本とは全然違  
った慣れない土地に不安になったのを覚えています。この交流で  
特に印象深かったのは、3年生の研究であるラーメン自動製造機  
です。その機械の凄い所は卵を割りチューブでラーメンの中に入れ  
るというプロセスがあることです。この機械は未完成だったの  
ですが、将来日本でもコンビニなどで活躍しそうな機械だと思  
いました。彼らの研究が無事成功し、作動するのが楽しみです。



## 機械システム工学科1年 東 大地

1週間という短い期間ではありましたが、とても充実した時間を過ごすことができましたので満足しています。

活動の一つに水原ハイテク高校の生徒の前で、英語でプレゼンテーションをするというのがあり、そのための事前準備が大変でしたが、最終的に成功してよかったです。その他、様々な活動を通してハイテク高校の生徒との思い出を作ることができ、とても貴重な体験となりました。



## システム制御情報工学科1年 今野 麟太郎

今回の交流事業では色々なことを知り、多くのことを学ぶことができました。特に同年代の韓国の生徒さんたちのレベルの高さにとても刺激を受けこれからの自分の励みとなりました。また、韓国の伝統文化に触れる機会が多くあり、より韓国の魅力を知ることができました。1週間という短い期間でしたが、とても有意義で満足できる1週間でした。今後もこの交流事業を続けてほしいです。

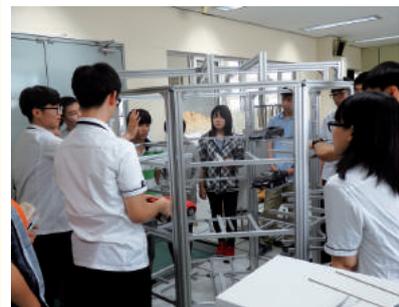


## 電気情報工学科1年 藤沢 宇恭

“1週間の旅行が4万円で行ける”という今回の高専の韓国留学。

英語があまり出来ない自分も、これで英語力と英語を勉強する気がアップするかもしれない、と思い参加しました。

最初は、うまく話せるか、仲良くなれるかなど、心配ばかりしていましたが、韓国では日本語の上手なチューターさんが多くいてとても助かりました。また、韓国の文化を知ることができるとても良い機会になりました。



## システム制御情報工学科1年 大懸 崇一郎

今回の水原交流は僕にとって外国へ行く初めての機会でした。ハイテク高校の人々は僕達のことをとても歓迎してくれました。交流前はコミュニケーションがとれるのかとても心配でしたが、会ってみるとハイテク高校の人々は日本語がとても上手で、アニメやマンガ、学校や文化の違いなどの会話が盛り上がりました。見学場所では韓国の歴史や、同世代の外国に対しての意識の違いなど、多くのことを学ぶことができました。



## 電気情報工学科2年 廣山 千容

今回の水原ハイテク高等学校の交流事業で私は、韓国について多くのことを学ぶことができました。韓国に行って、最も驚いたのが、韓国の学習レベルがとても高いことです。韓国語のほかに英語か日本語ができる人が多かったのです。それと3年生の研究をのぞかせてもらったとき、研究名が日本語と韓国語の駄洒落だったことがとても印象に残っています。また、韓国に行く機会があれば、今度は韓国の色々なところを観光してみたいです。

### 平成28年度 派遣プログラム

- 1日目 歓迎会
- 2日目 対面式、水原市表敬訪問、市内見学（韓国民俗村・韓国冷麺店（昼食）・水原華城）、韓国文化体験
- 3日目 特別授業（韓国語・音楽）、高専学生発表会、共同授業（体育）
- 4日目 ソウル見学（東大門デザインプラザ・韓国料理店（昼食）・仁寺洞・北村韓屋村・南山）
- 5日目 EVERLAND 観光
- 6日目 専攻授業（精密機械科・自動化システム科・電気電子制御科）、歓送会
- 7日目 帰国



今回の派遣を通じて、水原ハイテク高校生徒の勉学への姿勢や国際社会への適応力を身近に感じたことが、参加学生には良い刺激になったようです。また、学外での体験も両校生徒・学生の相互理解に良い効果を与えたようで、一生の思い出になったと思います。この経験を活かし、今後さらに成長してくれることを期待します！



# ニュージーランド・イースタン工科大学語学研修

## 一般人文科 教授 鈴木 智己

この研修に本校の学生が参加するのは今年で5回目。苫小牧高専の学生 18 名と合わせて 23 名の参加となりました。平日は、さまざまな国の学生が学ぶ大学附属の英語学校で午前中3時間と午後2時間みっちり英語の授業に臨み、英語のシャワーを浴びる毎日となりました。周囲には仲間がいたため、日本語を全く使わないという環境ではありませんでしたが、英語を使うことで広がる世界を見ることができたのは、何にも代え難い収穫でした。

この研修には、地元の中学校を訪問して理科系の簡単な実験とその説明を行う「サイエンス・デモンストレーション」が組み込まれており、今年のテーマはさまざまな目の「錯覚」を紹介することでした。その準備が期末試験期間と重なり、必ずしも準備万端ではなくハラハラしましたが、本番では堂々と発表をこなすとともに、身振り手振りも含めて子どもたちと必死にやり取りをしていました。たくさんの反応が子どもたちから得られたこともあり、満足いく貴重な経験となりました。

現地を発つ際に、異口同音に「2週間は短すぎ」「また絶対に来る」と言っているのを耳にし、参加した学生がそれぞれ自分の殻を破る貴重な経験をしたのだなと清々しい思いで帰国いたしました。



## 物質化学工学科3年 星 敬仁

今回の NZ 語学研修で初めて北海道から海外に出て、ホームステイなど初めての経験で不安だらけでしたが、ホームステイ先の人達や EIT に通っている学生や教師の方々優しく丁寧に接してくれたので、不安が無くまりました。また、一緒に行った先輩方にも良くしてもらって楽しく過ごすことができました。大学では先生が丁寧に教えてくれたり、同じクラスに様々な国の人達や年齢の離れている人達がいて、最初は驚きましたが、優しく接してくれたり母国のことを教えてくれたりして楽しかったです。2週間があっという間に終わってしまうと思うほど、毎日が英語によって充実していました。機会があればまた行きたいです。

## システム制御情報工学科4年 間藤 昂允

この NZ 語学研修は、高専生活の中で大きな思い出になりました。サメと泳いだり、小高い丘に登って NZ のきれいな自然を見たりと、とても楽しい経験ができました。家ではホストファミリーが優しく迎えてくれて、雑談をしたり、一緒にテレビを見たりと生の英語に触れることもでき、英語の勉強としてもいい経験ができることは間違いないと思います。苫小牧高専の学生と一緒に行くということで他高専の話を聞くこともでき、広範囲にわたって様々な知識を得ることができたと感じます。言葉では感じるることのできない NZ 人の優しさや NZ の豊かさ、文化の違いなどを学ぶにはこのプログラムはとても良いと思います。ぜひ来年行くことをお勧めします！



## 4E 千葉 一樹

NZ 語学研修は、ホームステイや授業、人とのかわり合いの中で異文化や日本とは違った授業スタイル、何より英語の重要性や自分の考え方を見つめ直せるとてもいい研修でした。休日には友達と遊びに行ったり、またホームステイ先の趣味と一緒に参加させてもらったりして、普段とは違う生活を楽しむことができました。滞在期間は2週間と短い気もしますが、日本では英語だけで一日中会話をする機会はなかなかないですし、また自分のクラスの先生も英語で英語を教えるため、テスト以外で自分の英語力を確認したい方や、英語を話すのにためらいがある方には本当に良い語学研修だと思います。

## 物質化学工学科4年 在間 涼

語学研修を通して、語学だけではなく日本とは違った風土・文化に触れることができ、とても良い経験になりました。英語だけの会話をできるのかどうか不安でしたが、学校の友達や先生、ホストファミリーがサポートしてくれて楽しく会話することができました。今回できた友達、ホストファミリーともっと多くのことを話すため、学ぶために、もっと英語を勉強して、またニュージーランドに行きたいです。



## 物質化学工学科4年 柳本 はるの

今回、NZ 語学研修に参加したことでたくさんの人と出会いました。ニュージーランドで通っていた EIT には日本人やニュージーランド人だけでなく、アフリカ圏やアジア圏の人もいて、初めは戸惑いありましたが、仲よくなってたくさん話しをしたことで、自分の世界がグンと広がりました。

自分の伝えたいことがうまく伝えられず、悔しいこともありましたが、それを乗り越えられた時の喜びはとても大きなものでした！日本では出来ないような体験をたくさんさせてもらい、本当に1日1日が充実していました。NZ で経験したことや出会ったホストファミリーや友達、どれも忘れられない大切な思い出の残る研修となりました！



## オープンキャンパス・ 体験入学(十勝・オホーツク地区限定)

初めての試みとして、7月3日(日)に、オープンキャンパスを開催しました。また、十勝・オホーツク地区に限定した体験入学も同時に開催しました。オープンキャンパスは、旭川高専を広く地域に開放して「高専ってどんなところ?」「何を勉強しているの?」といった疑問にお答えし、理工系分野・科学技術にも親しみをもていただくことを目的に開催したものです。

当日は、予想をはるかに超える約300名の来場があり、10か所以上の研究室・施設等を紹介する「高専探検ツアー」、女子学生による「旭川高専ガールのキャンパスライフ紹介」、留学生が出身国の紹介を行った「世界の国からこんにちは」、「スタンプラリー」、「学校説明会」、「システム制御情報工学科協力によるPepperの玄関でのお出迎え」など多くのイベントを実施しました。また、これまで本校のイベントでは公開したことのないクラブ活動の見学も実施しました。



## 体験入学・進学説明会

8月20日(土)・21日(日)の両日、中学生を対象とした体験入学と進学説明会を実施しました。この催しは、理工系分野の魅力を紹介し、より興味・関心を深めてもらうとともに、旭川高専についてよく知ってもらい、進路決定の一助としてもらうことを目的に毎年行っているものです。

特に初日は、台風の接近に伴う悪天候に見舞われましたが、全道各地から、両日で500名近い中学生と保護者にご参加いただきました。例年、体験実習の説明や補助を学生が行っており、参加者にとっては現役高専生と接する機会となり、学生にとっては学んだことを他の人に分かりやすく説明し、実習をスムーズに進めるにはどうしたらよいかを学ぶ良い経験となりました。



# 汗と声援の混じった 校内体育大会

5月19日(木)・20日(金)の両日にわたり、校内体育大会を開催しました。

今年度の体育大会は、両日ともにこの時期にしては暑すぎるほどの快晴に恵まれました。校舎の内外ではソフトボール、バレーボール、フットサル、バスケットボール、バドミントン、リレー、綱引き、ウォークラリーといった各種競技がクラス対抗の形式で行われ、応援の声飛び交う、白熱した試合の数々が繰り広げられました。

毎年恒例の最終種目、駅伝では全学生が校舎前に集まります。選手として走る者、自分のクラスを応援する者、大会の運営を支える者、参加の仕方は様々ですが、それぞれが充実した時間を過ごしました。

総合優勝は、バレーボール、フットサル、ソフトボールで優勝した、システム制御情報工学科5年(5S)でした。5Sの総合優勝という珍しい形で幕を閉じた体育大会となりました。来年はどこのクラスが優勝するのか楽しみです。



総合優勝クラス(5S)

## 「女子学生向け就職活動におけるメイクアップ講座」を開催しました

4月14日(木)に、「女子学生向け就職活動におけるメイクアップ講座」を開催しました。

この行事は、本科5年生及び専攻科2年生の女子学生を対象に、採用試験の際の身だしなみやメイクアップの基本等を学んでもらい、就職活動に対する心構えを意識してもらうため、初めて実施したものです。

当日は、15名の女子学生が参加し、講師の指導のもと、熱心に取り組んでいました。



## 授業参観を実施しました

4月28日(木)に、授業参観を実施しました。

保護者の方からは、「新入生はすべてが初めての生活の中、早い時期に参観日があるのはありがたい」、「教員と学生が対話しながら授業を行っており雰囲気良かった」などの声が寄せられ、当日は214名の方々にご参加いただきました。



## 「交通安全講演会」を実施しました

4月22日(金)及び5月12日(木)に「交通安全講演会」を実施しました。

旭川中央警察署と北工学園モータースクールから講師を招き、本科1・2年生対象の講演では、自転車の交通ルールについて、本科3～5年生対象の講演では、交通事故の悲惨さや自動車運転時の心構えなどについてのお話がありました。映像資料を交えた説明に、学生たちは真剣に耳を傾け、交通安全に対する意識を高める良い機会となりました。



## 明誠寮で「寮祭」を開催しました

6月18日(土)に明誠寮で、寮生会主催による「寮祭」を開催しました。

韓国の水原ハイテク高校からの交流生徒10名も参加して、男子寮生会主体のスポーツ大会と、女子寮生会主体のウォーキングスタンプラリーが行われました。

夕食に、ジンギスカンを食べた後には、校長先生と寮生とのジャンケン大会が開かれ、最後まで勝ち残った寮生には景品が贈呈されました。寮生たちは楽しんで交流し、明誠寮での思い出をまた一つ刻んでいました。



# 行事予定

平成28年度  
11月～3月



11月	10日(木)	就職適正検査(本科4年・専攻科1年)
	17日(木)	就職実践模試(本科4年・専攻科1年)
	20日(日)	ロボコン全国大会(東京)
	24日(木)～12月7日(水)	後期中間試験(授業内実施)(本科)
12月	8日(木)	就職適正検査説明会(本科4年・専攻科1年)、第4回TOEIC IPテスト
	10日(土)	EMaT工学系数学統一試験
	15日(木)	学生立会演説会(本科)
	16日(金)	学生会役員選挙(本科)
	26日(月)～1月6日(金)	冬期休業
1月	10日(火)	授業開始
	12日(木)	学習到達度試験(本科3年)、一般選択科目説明会(本科3・4年)、第5回TOEIC IPテスト
	19日(木)	学生総会(本科)
	26日(木)	就職模擬面接(本科4年・専攻科1年)
	31日(火)	卒業研究発表会(本科5年)
2月	7日(火)～13日(月)	学年末試験(本科)
	9日(木)	特別研究発表会(専攻科2年)
	14日(火)～21日(火)	特別指導期間(放課後実施)(本科)
	16日(木)～3月31日(金)	学年末休業(専攻科)
	22日(水)～24日(金)	補講期間(本科)
	27日(月)～3月31日(金)	学年末休業(本科)
3月	17日(金)	卒業証書授与式(本科)、 修了証書・学位記授与式・JABEE認定プログラム修了証書授与式(専攻科)

## FANCT vol.126

「FANCT」…旭川高専を表す「ANCT」に「F」をつけて「Fun」(楽しい、愉快的)の首を付けました。旭川高専の楽しい情報を伝えること、また、読むのが楽しみな学校だよりになるよう名付けました。



独立行政法人国立高等専門学校機構

旭川工業高等専門学校

〒071-8142 北海道旭川市春光台2条2丁目1番6号

TEL 0166-55-8000 (代表)

FAX 0166-55-8082

<http://www.asahikawa-nct.ac.jp>

学校だよりに掲載されている記事・写真などは、学校だよりへの掲載目的以外の利用及び外部への提供は一切行いません。また、個人情報に関するお問い合わせは、上記までご連絡ください。掲載の記事・写真・イラストなどのコピー・転写等の二次利用は固くお断りしております。

### 編集後記

異常気象やIoTの普及等、我々の周囲を取り巻く自然・社会環境は変化を続けています。このような変化の時代を生き抜くには、情報収集能力とそれを生かす能力が必要不可欠であると思います。FANCT126号では、学校生活の風景と共に、今年度に就職活動した先輩達の声をお届けいたします。これから就職活動を控える学生達の情報源の一つとなれば幸いです。

末筆になりましたが、FANCTの制作にご協力頂いた学生、教職員の方々へ感謝申し上げます。

記載：河野 義樹 (学校広報 WG)